



## 職業倫理・独立性



レピュテーション・リスク本部長  
川本 修司

### 高いレベルの職業倫理の遵守と独立性の保持

トーマツは、監査をはじめとする様々なプロフェッショナルサービスを提供する総合プロフェッショナルファームとして、常に高いレベルの職業倫理の遵守や独立性の保持を社会から求められており、その要請や期待は年々高まっています。

このため、品質の基盤である職業倫理の遵守や、独立性の保持を徹底する体制や手続きを維持・向上させながら、全ての社員および職員が職業倫理や独立性を何よりも重視する組織風土を醸成しています。誠実な人がより高く評価される施策を推進していくことで、プロフェッショナルとしての自覚と誇りを持ち、「正しいことを正しくやる (Do the right things to do)」ことを、日々の全ての行動において徹底していきます。

### 職業倫理・独立性の方針等や取り組み

職業倫理の遵守および独立性の保持に関する方針および手続をマニュアルに定め、これを社員および職員が遵守することを求めています。マニュアルは、デロイトの独立性の方針をベースに、公認会計士法およびその関連する諸規則、日本公認会計士協会の「倫理規則」、「独立性に関する指針」およびデロイト トーマツ グループ独自のより厳しい方針を追加する形で構成されています。なお、独立性保持のため、マニュアル違反に関しては特に厳格な罰則を設けています。

また、職業倫理の遵守および独立性の保持の重要性については、レピュテーション・リスク本部長はもちろん、包括代表からもメッセージを対面、動画、メール等の様々な手段を通じて継続的に発信するなど、いかに一人ひとりに浸透させるかを意識し、発信手段を工夫しています。

### 職業倫理の遵守に関する取り組み

#### デロイト トーマツ グループ Code of Conduct

デロイト トーマツ グループは、社員および職員の価値基準・行動基準として、DTTL<sup>\*</sup>で採択された“Global Principles of Business Conduct”を基礎とした、デロイト トーマツ グループ Code of Conductを定めています。これらの運用と推進により、Code of Conductの継続的な浸透を図り、社員および職員のエシックス（倫理）上の判断力と意思決定能力の養成をサポートしています。その一環として Code of Conductを含む職業倫理に関する研修を定期的実施するとともに、年次でその理解と遵守状況を確認しています。

※詳細は41ページを参照ください。

#### エシックス委員会

エシックス委員会は、エシックスに関する方針を決定し、エシックスプログラムの実施状況の定期的なモニタリングを行っています。

#### コンプライアンスホットライン

法令違反行為および不正行為の早期発見と是正を図り、コンプライアンス経営の強化ならびに業務および管理業務の品質向上に資することを目的として、コンプライアンスホットラインを設置し、内部・外部からの通報を受け体制をとっています。デロイト トーマツ グループのウェブサイトにおいて通報窓口を公開しています。

#### インサイダー取引の防止

「インサイダー取引防止規程」を制定し、研修等を通じてインサイダー取引防止の周知徹底を図り、さらに包括代表は、社員および職員に対し注意を喚起しています。

監査品質の基盤である職業倫理の遵守や独立性の保持を徹底するため、  
全社員・職員へ浸透する仕組みを構築し、  
これらを何よりも重視する組織風土を醸成しています。

### 情報セキュリティに関する規程

情報セキュリティに関する規程は、デロイトのグローバルセキュリティポリシーに則って各国の拠点で管理規程を定めることになっています。トーマツでは、これに準拠して情報セキュリティの基本となる規程および個人情報保護に関する規則等種々の規程を整備しています。これらは、日本公認会計士協会IT委員会報告第4号「公認会計士業務における情報セキュリティの指針」にも準拠しています。

### 情報セキュリティ確保のための具体的方策

以下の具体的方策を実施しています。

- ・全ての社員・職員に対する情報セキュリティに関する研修の実施
- ・監査調書を含む監査先企業情報の保存・送付・運搬手段の限定
- ・VDI (Virtual Desktop Infrastructure: 仮想デスクトップインフラ)の使用 (下記説明参照)
- ・PCに、電源オフにより初期化されデータが消失される仕組みを実装
- ・インターネット回線を経由して法人内サーバーに電子データを移動させる際、より安全性の高いVPN回線の利用

### VDI

トーマツでは、2014年7月にVDI(仮想デスクトップインフラ)を導入しました。PCは操作端末であり、作業は法人内サーバー上の仮想マシンで行われるため、監査情報は全て法人設備内で処理され、PC内にデータが保存されません。また、PCは、電源オフにより初期化される設定であるため、PC紛失等に起因する情報漏えいリスクがありません。

### 独立性の保持に関する取り組み

**全世界の監査先企業を登録したデータベース**  
デロイトは、全世界の株式等を上場している監査先企業およびそのグループ会社を登録したデータベースをメンバーファーム間で共有し、独立性の保持が要求される監査先企業を検索するシステム (Deloitte Entity Search and Compliance: DESC) を整備しています。DESC内の情報は、トーマツのみならずグローバルベースで定期的に更新され、独立性の保持が要求される監査先企業に、提供禁止業務が提供されることを防止しています。

### 独立性規則の遵守状況のモニタリング

社員およびマネジャー以上の監査チームメンバーは、その保有株式等をモニタリングシステム (Global Independence Monitoring System: GIMS) に登録し、独立性諸規則への遵守状況をモニターしています。登録内容の正確性に関しては、レピュテーション・リスク本部が内部検査を実施しています。モニターまたは内部検査により問題を認識した場合は、直ちにその解消を図っています。

また、社員および職員に対して、年に1回、独立性に関する確認手続きを実施しています。

さらに、監査チームの全てのメンバーは、監査業務の開始および終了時に監査先企業との利害関係がないことを確認し、当該確認結果は監査調書として保存しています。

### 定期的な研修の実施

独立性の理解を徹底するため、少なくとも年1回、研修を実施しています。研修教材はデロイトが提供するものや、デロイト トーマツ グループ独自に開発したものを用いています。

### 独立性に関する専門部署の設置

独立性に係る諸問題の窓口として、レピュテーション・リスク本部 (独立性・コンフリクト) を設置し、独立性担当責任社員 (Director of Independence: DOI) のもとで、随時相談に対応しています。また、必要に応じて、グローバルの独立性専門部署の担当社員と、適時に課題を協議・解決する仕組みを有しています。

### 社員ローテーション

トーマツでは、公認会計士法および日本公認会計士協会の倫理規則、米国SEC規則等に準拠して内部規程を定め、社員ローテーションを実施しています。

### 監査先企業の役員等への就任禁止

トーマツを脱退する社員が、会社等の財務書類について、指定有限責任社員として公認会計士法第2条第1項の業務を行った者である場合、当該財務書類に係る会計期間の翌々会計期間の終了までの間は、当該監査先企業の役員等 (役員および経理責任者) への就任を禁止しています。

